

鈴与株式会社

所在地: 静岡市清水区 創業: 1801年 資本金: 10億円
従業員数: 1,100人(男性 900名、女性 200名) 業種: 運送業



◆RPA化(ロボテック・プロセス・オートメーション)により業務の効率化を推進するとともに、社員一人ひとりの状況に応じたWLBを推進。

・定型業務や入力業務等のRPA化(ロボテック・プロセス・オートメーション)を進め、作業の効率化を図るとともに、社員の一人ひとりの状況に応じた制度の導入によりワーク・ライフ・バランスを推進。

定型業務等の効率化が難しかった

- ✓ 管理業務で煩雑な事務作業が多く、時間外労働の削減、人手確保が年々厳しさを増しており業務の効率化を図る必要があった。このため、以前から研究、検討していたRPA化を平成29年9月代表取締役社長の方針から導入。

社員一人ひとりの事情に応じた対応が難しかった

- ✓ 介護や育児といった社員のライフスタイルに応じた制度が無く苦慮していた。また、長時間労働の抑制に関しても取組の遅れを感じていた。

取組前
(きっかけ)

事務作業の効率化

- ✓ RPA化は人事、経理部門でトライアル的に施行開始。現在業務の標準化のため資料を作成し、手作業等の業務の洗い出しに取組んでいる。さらに、入力業務等の単純作業の効率化に向け継続試験的運用に取組中。

ワーク・ライフ・バランスの向上

- ✓ 介護・育児に関する制度の導入や時間外労働の削減により働きやすい環境づくりが進んだ。平成27年10月くるみん認定取得。
- ✓ 物流業界のイメージの改善を図る観点から新設の倉庫、物流センターのレイアウト、休憩室、空調等を従来より改善し、快適な労働環境下で業務が行えるよう物流業界のイメージを変え雇用の確保に努めている。

取組後(効果)

取組内容や仕組み

RPA化の推進

- ✓ 社員がPCのキーボードやマウスを使って行ってきた定型業務や入力業務を、コンピュータにインストールしたソフトウェア(ロボット)に記憶、代行させ、業務の効率化やそれに伴う人的負荷の軽減、コスト削減に取り組んだ。
- ✓ 日中外回りをする営業職に、バックオフィスを設け、事務作業をフォローする取組を進めることにより、営業職が帰社後極力残業しないで済む体制を試験的に運用。標準化に向け様々な顧客対応に取り組んでいる。今後、静岡駅に営業職のためのサテライトオフィスを設置する予定で、労働時間の短縮を更に進める。

ワーク・ライフ・バランスの推進

- ✓ 新幹線通勤補助について、これまで家庭の特別な事情として“家族の介護・子の教育”を許可要件としていたが、“本人の疾病・家族の看護・育児・配偶者との同居”も要件に追加した。
- ✓ また、育児のための短時間休暇については、1時間単位から30分単位で取得可能とする規定変更を行った。
- ✓ 全社的な取組として、トップダウンにより長時間労働の抑制に取り組んでおり、毎週残業時間をチェックし、22時以降の退社記録があった場合は、上司にメールにて注意喚起を行っている。